

第2期しまね教育ビジョン21

基本理念 島根を愛し 世界を志す 心豊かな人づくり

教育目標

向かっていく学力

夢や希望に向かって主体的に学ぼうとする人を育てます

広がっていく社会力

多様な人と積極的に関わり、社会に役立つ人育てます

高まっていく人間力

自他を等しく大切に、共に生きようとする人を育てます

しまねの学力育成推進プラン

3つの柱

授業の質の向上

教員の指導力を向上させ学力を高める授業の工夫改善を推進します

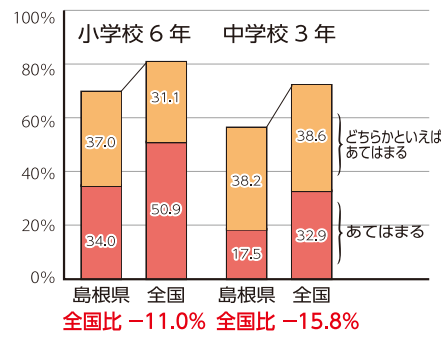
家庭学習の充実

基本的な生活習慣の定着や家庭学習の習慣化を図ります

学校マネジメントの強化

集中して授業に取り組み、保護者・地域に信頼される学校づくりを進めます

「授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。」という質問に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と答えた児童生徒の割合(平成26年度全国学力・学習状況調査より)



国の分析によると、授業の最初に学習のめあてなどを示したり、授業の終わりに学習内容を振り返りたりする活動は、学習内容の定着や学習意欲の向上に効果があることが明らかになっています。左のグラフからわかるように、島根県では「授業のはじめに目標が示されていた」と感じる子どもたちが、全国に比べて少ない現状があります。授業の終わりの振り返りについても同じ傾向です。子どもたちが関心を持ち、意欲的に取り組む質の高い授業が展開されるよう取り組んでいきます。

授業の質の向上

市町村教育委員会と一緒に
しまねの学力育成推進プランを策定しました

学校では、しまね教育ビジョン21の「向かっていく学力」を身に付けさせる手立てを具体的に推進します。家庭では、子どもたちに家庭学習を促すことへのご理解・ご協力をより一層お願いいたします。

教育しまね

2015年(平成27年)2月

Vol. 56

島根県教育委員会

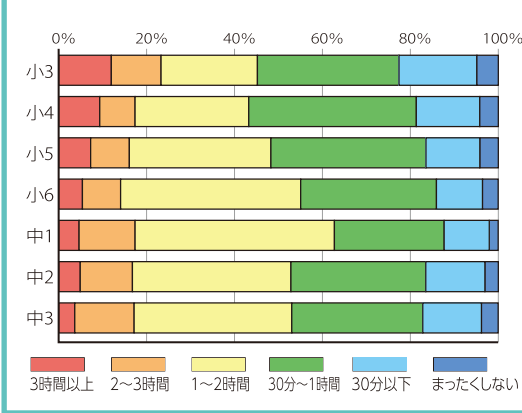
特集

- ①しまねの学力育成推進プラン
- ②子どもたちの食を考える

家庭学習の充実

左のグラフは県が昨年4月に調査した結果です。小学校から個人によって勉強時間の差が大きくなっていることや、1時間以上学習する割合が小学6年生よりも中学2、3年生が少ないことは大きな課題です。全国調査でも、平日1時間以上学習(塾や家庭教師を含む)をする中学3年生の割合が、島根県は全国で最も低い状況が続いています。家庭学習では宿題をすることはもちろんですが、予習や復習を自分から主体的・計画的に行うことが大切です。家庭での学習習慣の定着が、夢や希望を実現するための確かな学力を身につけることにつながります。

島根県の小中学生が、平日に授業以外で勉強する時間(塾や家庭教師を含む)(平成26年度島根県学力調査より)

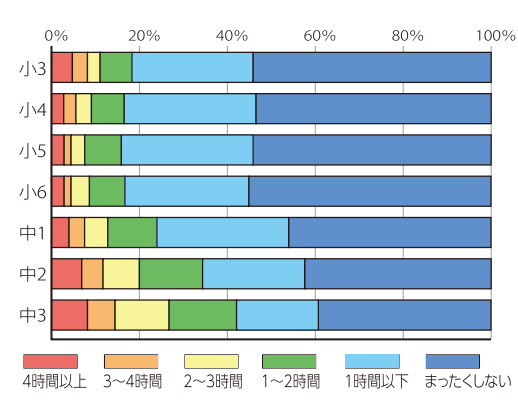


「しまねの学力育成推進プラン」に基づく取組については、教職員向け教育情報紙により県内全教職員に周知していきます。この教育情報紙には、家庭向けのページも設け、学校・学級だけでなく活用してもらおう考えです。各家庭でも目にする機会があると思いますので、ぜひご覧ください。島根の子どもの学力育成のための取組についてご理解とご協力をより一層お願いいたします。

授業に集中できる環境を作ることが、学力育成には重要です。各学校では、校長や教頭のリーダーシップのもと組織的な取組により学習環境を整えます。また、学校の運営方針をはじめ、具体的な取組の成果と課題、あるいは改善に向けた方策などについて、家庭・地域へ情報を発信します。しまね教育ビジョン21にも示しているように、家庭・地域と連携した学校教育を展開していくことにより、学校教育の質を高め、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。保護者や地域の皆様には、学校への意見や質問を遠慮なくお寄せいただきたいと思っております。

学校マネジメントの強化

島根県の小中学生が、平日に携帯電話やスマートフォンを使用する時間(平成26年度島根県学力調査より)



INFORMATION

古代出雲歴史博物館「ミュージアムスクール」について

島根県立古代出雲歴史博物館では、調査研究・展示とともに、学校との連携も重視しており、児童・生徒が島根の歴史や文化について興味・関心を高めることができるよう、体験学習施設や様々な体験プログラム、歴史学習教材などを準備しています。「ミュージアムスクール」は「見学・体験プログラム」と「出前授業」から構成されており、子どもたちが島根の歴史・文化について理解を深める機会を提供していきたいと考えています。なお、子ども会や地域で「ミュージアムスクール」を利用されたい場合は、下記までお問い合わせください。

見学・体験プログラム

小学校・中学校・高等学校のみさんが学校の授業で博物館を見学されたい時に利用できるプログラムです。
(例)①「学芸員が青銅器について解説」
②「荒神谷遺跡等の展示を見学」
③「銅鐸づくりを体験」
(所要時間:2時間10分)



「銅鐸づくり」※石で作成

出前授業

小学校・中学校・高等学校に博物館スタッフが訪問して授業などを行うプログラムです。
(例)①「学芸員が『出雲国風土記』が書かれた奈良時代について解説」
②「奈良の大仏づくりを体験」
(所要時間:1時間10分)



「大仏づくり」※実物大パネルを組み立て

お問い合わせ先 交流・普及課 TEL 0853-53-8604

島根の生徒が活躍しました!! (H26.2.1~H27.1.31)

スポーツ部門 都道府県、日本中学校体育連盟、日本高等学校体育連盟、各競技団体主催の全国大会及び国際大会で2位以上の成績を収めた団体個人

- 【全国高等学校柔道選手権大会(平成26年3月)】男子個人81kg級 優勝 県立平田高等学校 佐々木健志さん
- 【全国高等学校選抜卓球大会(平成26年3月)】男子シングルス2部 2位 県立松江商業高等学校 和田航希さん
- 【全国高等学校選抜ホッケー大会(平成26年3月)】ホッケー男子 優勝 県立横田高等学校
- 【全国高等学校選抜女子セvensラグビーフットボール大会(平成26年4月)】優勝 私立石見智翠館高等学校
- 【日本陸上競技選手権大会(平成26年6月)】女子400m 2位 県立松江商業高等学校 青山聖佳さん
- 【全国高等学校総合体育大会(平成26年7~8月)】陸上競技 女子200m 優勝 県立松江商業高等学校 青山聖佳さん 女子400m 優勝 県立松江商業高等学校 青山聖佳さん 男子棒高跳 優勝 県立大社高等学校 澤慎吾さん 水泳(飛込) 男子飛板飛込 2位 私立松徳学院高等学校 須山晴貴さん
- 【全国中学校体育大会(平成26年8月)】ホッケー 女子 2位 奥出雲町立仁多中学校 テニス 女子ダブルス 優勝 私立開星中学校 宮内理瑚さん・細木咲良さん 柔道 男子個人55kg級 優勝 松江市立第四中学校 太田風和さん
- 【全国高等専門学校体育大会(平成26年8月)】バレーボール男子 優勝 松江工業高等専門学校 バスケットボール男子 2位 松江工業高等専門学校
- 【アジア大会(平成26年10月)】陸上競技 女子4×400mリレー 2位(第1走者) 県立松江商業高等学校 青山聖佳さん
- 【日本ユース陸上競技選手権大会(平成26年10月)】女子ユース800m 優勝 県立松江北高等学校 福田翔子さん
- 【長崎がんばらんば国体(平成26年10月)】水泳(飛込) 男子飛板飛込 優勝 私立松徳学院高等学校 須山晴貴さん 陸上競技 少年女子A400m 優勝 県立松江商業高等学校 青山聖佳さん 少年女子A100m 2位 県立松江商業高等学校 青山聖佳さん 少年女子共通800m 2位 県立松江北高等学校 福田翔子さん
- ライフル射撃 少年女子BRS40JW 2位 私立立正大学松南高等学校 田坂真愛さん
- なぎなた 少年女子試合競技 2位 私立出雲北陵高等学校
- 【アジアカデ・ジュニア柔道選手権大会(平成26年12月)】男子81kg級 優勝 県立平田高等学校 佐々木健志さん

文化部門

芸術文化の分野における全国規模の大会で最優秀に相当する賞又はそれに次ぐ賞に相当する賞を受賞した団体個人

- 【全国特別支援学校文化祭(平成26年2月)】造形・美術部門 リそな銀行賞 県立盲学校高等部 石輪萌子さん
- 【全国高等学校総合文化祭(平成26年7月)】小倉百人一首かるた部門 読手コンクール 優秀賞(優秀読手) 県立益田高等学校 石川白香莉さん
- 放送部門 優秀賞 県立飯南高等学校 報道部
- 演劇部門 優良賞 県立出雲高等学校 演劇部
- 将棋部門 女子個人 5位 私立つくば開成高等学校(出雲学習センター) 里見咲紀さん
- 弁論部門 優良賞 私立益田東高等学校 大羽健太郎さん
- 【全日本合唱コンクール全国大会(平成26年10月)】中学校部門同声合唱部 金賞 出雲市立第一中学校 合唱部

保護者向け教育広報紙「教育しまね」をよりよくするため、みなさんのご意見をお寄せください。

〒690-8502 松江市殿町1 県教育庁総務課 TEL.0852-22-5406 FAX.0852-22-5400

ホームページ 島根県教育委員会 検索

出雲養護学校「雲南分教室」平成27年4月開設



▲雲南分教室 完成予想図

これまで雲南地域には特別支援学校がなく、松江市や出雲市の特別支援学校への遠距離通学をせざるを得ない状況でした。雲南分教室の開設により、改善が図られるとともに、地域と連携した特別支援教育の推進を目指します。

《雲南分教室の概要》

設置場所	雲南市三刀屋町三刀屋地内
対象生徒	知的障がい(単一障がい)の高等部1学年8名(1学級)×3学年
校舎	木造一部鉄骨造、平屋建て、石州瓦葺き(施設内容)普通教室(3)、音楽室、パソコン室、図書室、調理実習室、総合実習室、自立活動室 ほか

バリアフリー図書の利用について

県立図書館では、すべての子どもたちに読書の楽しみを届けるために、障がいのある子どもたちにも利用しやすい大活字本や録音図書、点字図書などの「バリアフリー図書」約2,500冊を整備しました。子ども室での個人貸出のほか、地域支援室や西部読書普及センター(浜田市)では、団体貸出も行っています。さらに、最寄りの市町村立図書館や高校・特別支援学校図書館等を通して利用することもできます。

▼目で楽しむ読書

- 文字が大きく、読みやすい活字で書かれている大活字本
- 易しい言葉や絵文字を使い、読みやすいよう工夫されたLLブック
- 言葉やものごとを絵で説明した絵事典 等



▼ざわって楽しむ読書

- 文字を点字で表し、絵をざわってわかるように工夫した点字絵本
- フルートのアプリケを付けたり外したりして楽しめる布絵本
- 穴が開いていたり、音が出たり、絵が動いたりするしかけ絵本 等



▼耳で楽しむ読書

- 耳で楽しむ朗読CDや落語CD
- 文字や音声等をCD-ROMに記録したDAISY(デイジー)図書 等

▼大勢で楽しむ読書

- 舞台上に絵を貼ったり外したりしながら物語を演じるパネルシアター
- 演者が身に付けて、人形劇を演じるエプロンシアター
- ダイナミックな場面展開で理解しやすい大型絵本 等

お問い合わせ先 島根県立図書館 TEL 0852-22-5730

子どもたちの食を考える

島根の学校給食を通じ



学校給食の始まりは?

日本の学校給食は、いつ始まったのでしょうか。

正解は、明治時代です。

明治22年(1889年)に山形県鶴岡市の私立忠愛小学校において始まったと言われています。当初は、経済的に恵まれない児童に対する栄養補給・就学援助を目的として始められました。



▲忠愛小の学校給食(イメージ)

現在の学校給食の役割は?

保護者のみなさんの思い出の学校給食メニューは何ですか。

学校給食は、栄養バランスのとれた食事ができるように工夫されており、「成長期にある児童生徒の健康を守る」と「体位の向上」に大きな役割を果たしています。栄養教諭・学校栄養職員は、児童生徒がおいしく食べられるようにするとともに、いろいろな種類の食品を組み合わせるにより、栄養のバランスがとれるように日頃より工夫して献立を立てています。不足しがちなカルシウムやビタミンなどは、給食時にできるだけ多く摂取できるように配慮されるなど、一日の食事の中で学校給食が児童生徒の栄養摂取に占める役割は大きいものがあります。特に、島根県では旬の食材を活用した地産地消のおいしい給食を提供するよう努力しています。

人気メニュー(和食編)

ユネスコ無形文化遺産にも登録された「和食」といえば、「飯をベースとした一汁三菜の食事スタイルです。栄養バランスがよく、健康的な食事です。」

学校給食にもたくさん和食メニューがあります。**人気の和食レシピ**を紹介しますので、ご家庭でもつくってみませんか。

▼島根県学校給食会HPに掲載されています。

学校給食献立例

・ごはん・かき玉汁・干し大根おいしい煮
・さばのゆずみそかけ・りんご・牛乳

学校給食献立例

・ごはん・きのこ豆腐のすまし汁
・磯香和え・牛肉と根菜のきんぴら・牛乳

干し大根おいしい煮

太陽の光をいっぱい浴びた栄養たっぷりの地元の干し大根を使った料理です。

■材料(1人分)
干し大根(洗って水に浸しもどす).....5g
にんじん(せん切りにする).....8g
ごま油.....0.5g
焼きごこん(よく、3cm長さに切る).....8g
さつまあげ(小口切りにする).....8g
いんげん(1cm小口切り、ゆでる).....6g
こいくちしょうゆ.....2.5g
酒.....1g
三温糖.....0.8g
だし汁.....40cc
いりごま.....1g

■作り方 所要時間 20分(炙す時間は含まない)
1.干し大根は5cm幅に切る。
2.鍋にごま油を熱し、干し大根とにんじんを炒める。
3.だし汁、ごこん、さつまあげ、調味料を入れ弱火で煮る。
4.仕上げにいんげんを入れ、ごまをふり入れる。

牛肉と根菜のきんぴら

松江市立南・北・西学校給食センター

■材料(1人分)
牛肉.....25g
(1cm幅に切る)
にんにく.....0.2g
(すりおろす)
ごぼう.....20g
(きさがきにし、水にさらす)
れんこん.....15g
(ちぎりにし、水にさらす)
にんじん.....5g
(せん切りにする)
サラダ油.....1g
こいくちしょうゆ.....1g
みりん.....3g
ごま油.....1g
七味唐辛子.....0.01g
いりごま.....1g

■作り方 所要時間 30分
1.フライパンにサラダ油を熱し、にんにくと牛肉を炒める。
2.水を切ったごぼう、れんこん、にんじんを入れて炒める。
3.Aを加え、水分がなくなるまで中火で炒める。
4.ごま油、七味唐辛子、いりごまをふり仕上げ。

朝はいつぱいのみそ汁を飲もう!!

一杯のみそ汁が健康を助ける

平成25年度の朝食摂取率(全国学力・学習状況調査)は、島根県の小学6年生が全国1位、中学3年生が全国3位という好結果ですが、思春期までに朝食の欠食が習慣化してしまうと大人になっても朝食の欠食につながる可能性があります。

大人になってからの朝食の欠食につながるためにも、「高校生まで」に自分でみそ汁を作ることができるようになることを目指していきましょう。



→「朝はいつぱいのみそ汁を飲もう!!」リーフレットは県教育委員会保健体育課健康づくり推進室HPに掲載しています。

ふるまい推進 指導員派遣事業

保育所、幼稚園、小中学校、公民館や地域の研修会等で、ぜひ活用してください。派遣費用など、経費はすべて無料です。「ふるまい推進指導員」は、現在28名が登録されています。みなさん、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭など教育現場の経験者やグループワークの指導者などです。

【参加者の感想】
基本的な生活習慣が、今後の学習習慣や運動習慣につながるということが分かり、改めて日々の生活習慣が大切だと感じました。
今は、子育ての根っこを育てる大切な時期、タイムリッブできないの時期を大切にしていきたいと改めて感じました。
「教えることはしっかり教え、任せることはしっかり任せる」という言葉が印象に残りました。子育てを見直す良い機会になりました。
「褒める、認める」、いつも心にはあっても、すが、なかなかできません。これからは、今以上に意識していきたいと思えます。

県教育委員会教育指導課
心の教育推進グループ
TEL 0852・22・6165

2月22日は 竹島の日

「竹島の日を定める条例」制定10周年

今年の2月22日は、平成17年に「竹島の日を定める条例」が制定されてから10回目の竹島の日です。

この10年間、島根県教育委員会は、児童生徒向け教材の作成、教職員向けの研修など、竹島に関する学習をより深まりのあるものにしていくための取組を行ってきました。

児童生徒向け教材としては、「竹島学習副教材DVD」、「竹島学習リーフレット」、「ふるさと読本 もっと知りたいしまねの歴史」を作成し、各学校に配付しました。このうち、「竹島学習リーフレット」については、李明博・韓国大統領の竹島上陸後の全国的な関心の高まりを受け、全ての市町村教育委員会にも配付し、啓発に活用してもらっています。

また、平成22年度から「竹島・北方領土問題を考える」中学生作文コンクールを開催しています。応募数は、初年度は約250点でしたが、昨年度はその4倍の約1000点となりました。応募数の増加に竹島に関する学習の成果が表れていると考えています。

最近の取組が

昨年3月に実施した平成26年度島根県公立高等学校入学者選抜学力検査で竹島について出題しました。初めての試みでしたが、正答率は93.3%で、ここでも竹島に関



▲これまで取り組んできた竹島に関する学習について竹島資料室で説明

する学習の成果が見られました。また、中学校社会科及び高等学校地理歴史科・公民科の学習指導要領解説が一部改訂されたことを受け、竹島を含む領土教育の充実を図るため、「日本全図」を作成しました。教室等に掲示して活用してもらうため、6月に全ての県立学校及び松江市立女子高等学校へ、10月に全ての公立小・中学校へ、合計3600部を配付しました。さらに、10月に開催された内閣官房領土・主権対策企画調整室主催の「領土・主権に関する教員等セミナー」で、これまで取り組んできた竹島に関する学習について説明し、参加した全国の都道府県の指導主事に情報発信しました。

島根県教育委員会では、竹島に関する学習を通して、「竹島が我が国の固有の領土であることを知っている」、「竹島問題の解決を図ろうとする意欲を持っている」、「竹島問題を解決するための自分なりの考えを持つ」、「子どもの育成を目指しています。今後、日本と韓国の真の友好関係の構築につながる、竹島問題の平和的な解決を目指し、指導の充実を図っていきます。」と考えています。

「古代歴史文化賞」受賞作決定

古代歴史文化賞は、最近発行された日本の古代の歴史文化に関する書籍のうち、学術的に優れ、かつ一般読者にも分かりやすく書かれている書籍を表彰するものです。書籍の表彰を通して、国民の古代の歴史文化への興味・関心をさらに高めることを目的としており、古代歴史文化にゆかりの深い島根県、奈良県、三重県、和歌山県、宮崎県の5県が共同で実施しています。第2回となる今年度の受賞作品が次のとおり決まりました。書店等で販売されていますので、是非ご覧ください。

古代歴史文化賞 大賞

『飛鳥の木簡—古代史の新たな解明』
市 大樹 氏(大阪大学准教授) 著
中央公論新社
【本の概要】
近年、飛鳥から出土している7世紀の木簡(文字の書かれた木札)のうち、特に重要な木簡を取り上げ、丁寧に分析してその背景にある古代国家形成の歴史を読み解く。研究の最前線の成果を広く解説した作品。

古代歴史文化賞 準大賞

『若い人に語る奈良時代の歴史』
寺崎 保広 氏(奈良大学教授) 著
吉川弘文館
【本の概要】
奈良時代の歴史について、時代を象徴するいくつかの出来事を取り上げ、講義形式で平易に語った作品。

○お問い合わせ先
県教育委員会古代文化センター TEL 0852-22-6725

島根県育英会 高校等奨学金の募集(無利子貸与)

島根県育英会では、平成27年度奨学生募集の募集を行っています。応募資格は高等学校等に在学し、学習意欲が旺盛でありながら経済的理由により修学が困難な島根県出身の生徒です。

現在中学3年生の方で、予約奨学生募集締切り後に事情の変更が生じて奨学金貸与が必要になった場合、「予約奨学生の緊急募集」制度を活用して、高等学校等入学前に奨学金の申込みをしていただくことができます。

応募要件及び提出書類については、在学する中学校、高等学校等にお問い合わせください。

〔奨学金の貸与額(無利子)〕
○国公立 自宅通学 月額1万8千円
自宅外通学 月額2万3千円
○私立 自宅通学 月額3万3千円
自宅外通学 月額3万8千円

お問い合わせ先
島根県育英会 TEL 0852-22-6165

高等学校等就学支援金について

平成26年度以降に高等学校等へ入学された方は、国公立を問わず、保護者の市町村民税所得割額の合算が30万4千2百円未満(保護者の年収の合算が概ね910万円未満)であれば、授業料の額の範囲内で就学支援金が支給されます(高等専門学校の場合、3年生まで支給されます)。

この結果、公立高等学校では授業料と就学支援金が同額のため、授業料負担がなくなり、私立高等学校や私立高等学校等の場合、授業料と就学支援金の差額は保護者に負担いただきます。

また、保護者の市町村民税所得割額の合算が概ね910万円以上(保護者の年収の国公立を問わず、保護者に授業料をこ負担いただきます)。

なお、就学支援金は学校設置者が直接受け取り、授業料に充てますので、生徒や保護者にお支払いすることはありません。

〔就学支援金の申請手続〕
就学支援金の支給を受けるためには、高等学校等に申請書及び課税証明書など保護者の所得を証明する書類(市町村民税所得割額が記載されているもの)を提出していただく必要があります。

申請手続等については、各高等学校等へお問い合わせください。